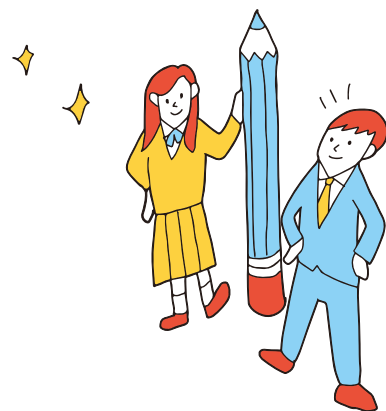




若者たちの未来(あす)に希望と自信、生き抜く力を。

若者の未来(あす)をリードする



〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-40-23
Cafe&Factory DEN内 (リモートオフィス)

☎045-325-8801
✉info@aslead.org

ASLEAD VISION BOOK
2023-2030

アスリードの目指す姿

「“キャリア共育”のHUBとして 共感の輪を広げ 挑戦し続ける集団」

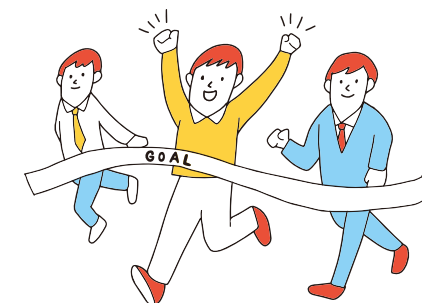
多様な人や団体と連携・協働し、関わるすべての人が輝ける場を
創り続けることで、“キャリア共育”を推進するNPOとして広く
認知・信頼される集団を目指します。



アスリードのすべきこと

「10代の若者と第3の大人が出逢い、 キャリア(生きる・働く)について共に考え、 成長しあえる場を創る」

アスリードが考えるキャリアには「仕事」だけでなく、その人の
「人生すべて」が含まれます。学校や家庭、職場といった自分の
コンフォートゾーンの外にいる人たちとの偶発的な出逢いを
創出し、互いに自身のキャリアと向き合う機会を創ることで、
なりたい自分に一步近づく“キャリア共育”を展開します。



アスリードが生み出す価値

「自分の人生を自ら考え、選び、一步踏み出せる人」

人生を“自分のもの”として主体的に受け止め、どんな環境にあっても
自分の可能性を信じて行動できる“**生き抜く力(自己肯定感)**”
を育みます。

アスリードが育みたい“生き抜く力(自己肯定感)”

- ★ 自分の価値に気づき、ありのままの自分を受け入れられる力
- ♥ 「私ならできる」と、自分を信じる力
- 👉 自ら決断、行動し、人生を切り開く力
- 🌱 「誰かの役に立っている」と思える力



アスリードが描く未来

「心豊かな人であふれる、 誰もが未来(あす)を描ける社会」

アスリードの考える“心豊かな人”とは「I am OK, You are OK」と
自他肯定できる心を持ち、他者にも関心を寄せられる人のこと
です。互いの持てる力を注ぎ合いながら、誰もが自分らしい人生
を歩み、未来(あす)を描ける社会を目指します。



2019

2020

2021

2022

2023

- 9月…■ NPO法人アスリード 設立
10月…■ キャリア教育支援プログラム「みらいteacher」開始
定時制高校内居場所支援「SAKURA☘cafe」開始

- 7月…■ 「みらいteacher」オンライン型対応開始
■ キャリア教育支援誌「みらい百花No.1」創刊

- 1月…■ 「SAKURA☘cafe」にてフードパントリー開始
4月…■ キャリア教育支援動画「わたしごと」配信開始
6月…■ 認定NPO法人シャイン・オン・キッズ協働プログラム(オンライン工場見学)実施
7月…■ キャリア教育支援誌「みらい百花No.2」発行
8月…■ 定時制高校向け進路支援プログラム「みらいGREETING」トライアル開始

- 2月…■ 保土ヶ谷区区民企画型講座「はぐくみ塾」との連携にて「不登校から描くライフキャリア講座」開催
3月…■ 令和3年度よこはま夢ファンド登録団体助成事業「みらいteacher公開授業」オンライン開催
6月…■ 「SAKURA☘cafe」にて「お仕事体験Cafe」開始
8月…■ キャリア教育支援誌「みらい百花No.3」発行

- 2月…■ (公財)神奈川産業振興センター委託業務「テクニカルショウヨコハマ2023」にて「Think キャリア!」開催
3月…■ JTB委託業務「ジョブtavi」プログラム(横浜高校)実施
■ 藤沢市おやじフェスタfor the Studentsにて「みらいコラージュワークショップ」開催

体験事業



■みらいteacher



来校体験型

社会人から「生きること」・「働くこと」についてお話(経験談)をしていただいた後に、その社会人の仕事を体験できるワークショップを行います。見て聴いて身体を動かすことで体感的に職業理解を深めます。



オンライン型

教室と企業をオンラインでつなぎ、普段は入れない工場や建設現場などリモート見学しながら仕事内容ややりがいを学びます。教室にいながら社会人の働く現場の雰囲気が味わえるのも魅力の一つです。



トークセッション型

体育館などで一堂に会し、社会人が壇上で自身のキャリアや進路選択に関する経験談を語ります。生徒の司会による運営や、実施校の先生にもご登壇いただくなど、地域企業と学校が一体となり、みんなでキャリアについて考えるプログラムです。



■SAKURA☘cafe



川崎市立高津高校定時制の食堂にて月2回実施しているSAKURA☘cafeは、退学の予防と進路が決まらない生徒のキャリア支援を目的に実施しています。2020年、全校生徒を対象に実施したアンケートでは「自分には価値がある人間だ」と回答したのは24%、「経済的に特に困ることはない」と回答したのは42%と、自己肯定感の低さと経済的に困窮していることが分かりました。他団体と連携しながらお米や飲み物、身の回りの日用品を無償提供しながら、ボランティアサポーターと一緒に生徒がより良い高校生活を送れるよう支援しています。



■みらいGREETING



高校生の就職活動には制約が多く、1社しか面接を受けられない「一人一社制」や、内定すれば必ず就職しなければならない慣習など、生徒には将来を考える時間や選択肢がありません。実際、高卒の3年以内の離職率は35.9%と大卒よりも高く、入社後1週間で「会社を辞めた」という話も珍しくありません。みらいGREETINGでは、就職活動に入る前から社会人と生徒がざっくばらんに「働くこと」について対話し、就職や将来に向けた自分自身の軸を持つことで、生徒にとってミスマッチのない進路選択を支援しています。



■Thinkキャリア!



工業技術や製品などを披露する展示会をフィールドに、学生が企業の講話や展示会場を見学し最先端の技術を学ぶことで、就業への動機付けと地場産業の魅力を発信することを目的としています。第1回目は2023年2月1日から3日までパシフィコ横浜で開催されたテクニカルショウヨコハマ2023にて、神奈川県立産業技術短期大学校の学生を対象に開催。出展企業の講話を受講したのち、専用のワークシートを持って展示会場へ見学。興味ある企業へ仕事の内容や技術力、働く楽しさや大変さをヒアリングした後、2~4名の小グループに1名ファシリテーターが入り、見てきたことや、学んだことを共有しました。



メディア事業



■みらい百花



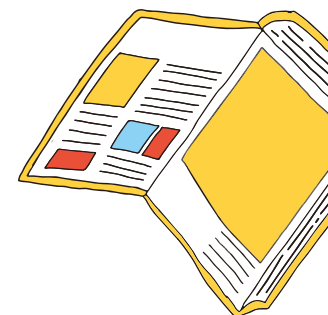
社会でイキイキと働く様々な業種・職種の大人たちを取材し、その姿を紹介していくキャリア図鑑。「なぜこの仕事を選んだのか?」「その仕事にはどのようなやりがいがあるのか?」今を生きる大人たちの生きる・働くを1冊にまとめた人生ドラマです。厚労省による職業分類の数はおよそ1万7千種類。みらい百花を通じて「こんな仕事があったのか!」「この人みたいになりたい」と将来に希望を抱き、まだ見ぬ未来に百人百色の“自分らしい花”を咲かせてほしいと願いを込めて「みらい百花」と名付けました。

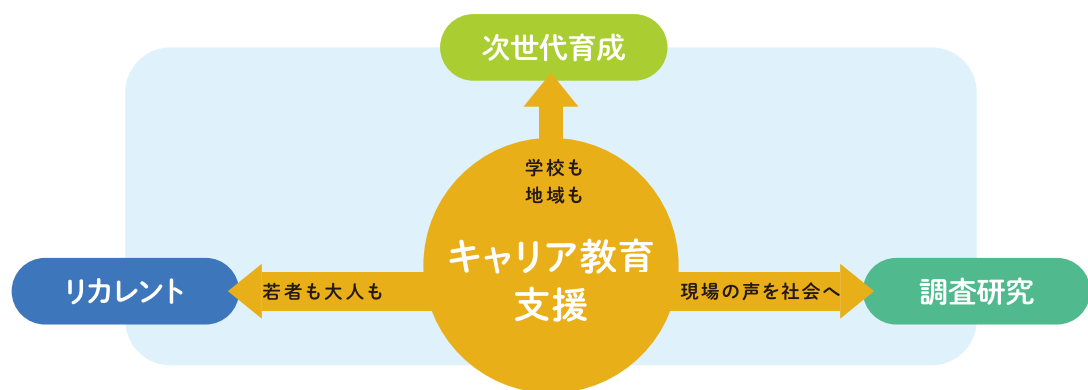


■わたしごと



新型コロナウイルスによって職業講話や職場体験が実施できない学校に向け制作した「わたしごと」は、大人の働く姿にスポットをあてながら、学生時代の悩みや今に繋がる学びや経験、はたらくとは何か、学生時代にしておくべきことを7分に凝縮した動画です。「やりたいことが見つからない」「将来に希望が持てない」そんな中学生・高校生の勤労観・職業観を醸成し、これからの時代を力強く、自分らしく生き抜いていく力を育みます。





次世代育成

-地域にいる若者にむけて-

これまで学校に在籍する若者を中心にキャリア教育支援を届けてまいりましたが、2030年に向けオリジナルのプログラムを地域に発信し、参加者を募っていく“次世代育成”を展開していきます。



はたらく体験プログラム

2026~

起業の疑似体験や地域企業の商品開発・課題解決など、社会の仕組みや働く楽しさを体験を通じて学び、“生き抜く力”を養います。

社会と繋がるフリースクール

2028~

何かしらの理由で学校に通えない若者を対象に、社会と繋がるフリースクールという居場所を提供します。職業講話や会社見学、起業体験など学校では学べない力を身につけることで、アドバンテージを持った状態での学校復帰・社会参画を目指し、次代のアスリートを担う人材を輩出します。

若者の夢を応援するアスリード基金

2030~

アスリードの活動を通じて得た利益の一部を毎年積み立て、生活保護世帯やヤングケアラーなど、進学費用が工面できず夢を諦めざるを得ない若者を支援します。



リカレント

-キャリアに関心ある大人にむけて-

アスリードの目指す“キャリア共育”を実現するためには、若者だけでなく大人もキャリア(生きる・働く)について見つめ直す機会が必要です。新たな自己の発見や可能性を再確認し、未来(あす)への活力をチャージする場を創出します。



みらいteacher養成講座

2023~

中高生の前で登壇する社会人を対象に、キャリアコンサルタントのサポートのもと、キャリアの棚卸から講話内容の構成、他の会社の講話を聴く機会など講座を設け、登壇する大人にとってもより有意義なプログラムになるようサポートいたします。

社会人向けキャリアワークショップ

2023~

キャリアに関心の高い大人(教員や小中高生の子を持つ保護者など)を対象に、キャリアコラージュやポジティブ心理学などを交えたワークショップを各月開催します。自身のキャリアについて考えることでアスリードにも関心を持っていただきながら、ボランティアサポーターやマンスリーサポーターなど、一緒に活動をしてくださる仲間を増やします。



調査研究

-地域・社会にむけて-

キャリア教育の効果や、アスリードの育みたい“生き抜く力”がプログラムに反映されているのかなど、専門家との協働により分析することで行政への政策提言につなげ、仕組み化・制度化を目指します。

大学と連携しキャリア教育の効果測定

2023~

教育を専門分野とする教授と共に、「みらいteacher」を実施する中学・高校を対象にアンケート調査を実施し、若者の将来に対する意識調査や、「みらいteacher」の受講前後での気持ちの変化を明らかにすることで、キャリア教育の必要性を検証します。

政策提言

2030~

調査結果やこれまでの支援実績をエビデンスに、キャリア教育の必要性を政策提言につなげます。キャリア教育のコーディネーターに対する予算化や、学校と企業をつなげるプラットフォームを市・区単位で作ることで、教員の働き方改革だけでなく、地域で学ぶ若者を地域全体で育てる仕組みの制度化を目指します。



2030年ビジョンロードマップ

・みらいteacher養成講座
・社会人向けキャリアワークショップ

・キャリア教育の効果測定
・大学連携
・本格的調査

・はたらく体験プログラム

・フリースクール開校

・アスリード基金設立

・政策提言

創業
年数

5
2023

6
2024

7
2025

8
2026

9
2027

10
2028

11
2029

12
2030



アスリードの未来新聞

「生徒が変われば、社会が変わる」

当団体が掲げる philosophy (Be 目指す姿、Do すべきこと、Have 生み出す価値、Will 描く未来)のもと、10代の若者を中心に、関わる全ての人々が共に学び成長しあえる機会を提供するほか、行政区ごとに若者の現状を調査した「若者キャリア白書○○市版」を発行

10代の若者を対象に「キャリア共育」支援をするNPO法人アスリード(横浜市)は、キャリア(生きる・働く)に対する価値観を再定義し、働く意欲や自己肯定感が向上した若者が増えた実績が評価され「アスリードモデル」として全国へと活動の輪が広がっている。



2030年9月20日 未来新聞

代表理事によれば「『キャリア共育』を推進したいという志ある団体に対し、ノウハウの共有から稼ぐNPOになるまで惜しみなく情報提供していきたい」と話している。日本の「キャリア共育」とNPOを変えるアスリードの活動に今後も注目したい。

理事によると「10年前にみらいteacher(職業講話)を受けて母校で登壇する姿も珍しくありません。生まれ育った地域でキャリア教育が循環している」と確かな手応えを感じている。また協賛企業からは「教育に関わることで社員の成長が繋がった」「教員や保護者からも『子供が変わった、大人も働くことに対する価値観が変わった』など設立から12年を経てphilosophyが実現してきたようだ。今ではアスリードモデルを取り入れたと全国各地のNPOから要請を受け講演活動も行っている。

し、地域に密着した政策提言をするなどこれまでのキャリア教育の在り方に一石を投じている。